

クローズアップ ビッグ・ポンドを囲む田舎暮らし

旭川市東桜岡、優良田園住宅の分譲を開始！

株式会社 芦野組

旭川



桜岡ビッグ・ポンドと当社が手掛けた優良田園住宅

濃い緑の雑木林に包まれ、庭先に咲く華やかな花々やベリーの実、冬には暖炉を囲んで暖を取る。主に一般個人住宅建築を手掛けている「株芦野組」(本社・旭川市旭神町二八番地の一〇六、芦野和範社長、資本金一、〇〇〇万円)では、都会の喧噪を忘れ、豊かな自然に包まれた田舎暮らしを夢見る方々向けに、市内東旭川町東桜岡地区に「桜岡ビッグ・ポンド(大きな池)」を囲む、五区画の優良田園住宅の分譲を開始し

た。

優良田園住宅とは、平成十年七月に施行された「優良田園住宅の建設の促進に関する法律施行令」に基づき、農山村地域、都市近郊、その他の良好な自然環境を形成している地域に所在する一戸建ての住宅のことで、一定の基準を満たすものをいう。旭川やその近郊では、元々農業地の休耕地が多く、ベッドタウンはもちろん、別荘地や避暑地などへ活用するケースも少なくない。しかし、元来、生活の源となる米や野菜を栽培していた田畑を宅地に転用するには、様々な規制も多く垣根が高いのも事実だ。同地区も同様で、こうして販売開始になるまでには、構想六年、正式に手続きを開始してから約二年の歳月を要した。

この東桜岡優良田園住宅は、隣接する「カフェ・グッドライフ」を運営する渋谷隆代表が夢見た「アケシア・プレイス」というプロジェクト構想が切っ掛けだった。この地に偶然訪れた渋谷代表が一発で惚れ込み、当時、東川で運営していた同カフェを直ぐに移転した。このエリアに住宅をはじめ、レストランや宿、ショップなど、ここに正しい田舎町をつくらうと発案したのが始まりだとい

「アケシア」とは、この近辺

「桜岡リザーベーション」と名付けられたこの地に、第一号となる住宅を完成させた。これは、同社が得意とする天然無垢木材をふんだんに使用した二階建て住宅で、ビッグ・ポンドに反射して映るその姿は、まるで異国の物語に登場する挿絵のような美しい風景だ。

桜岡リザーベーションは残り四区画だが、一区画(三六〇〜三六二坪)五百万円(建築条件付き)で販売中。近郊には小・中学校のほか保育所もあり、大自

然の中で子育てが可能となっている。

また、このアケシア・プレイスには現在、カフェ・グッドライフのほか、ギャラリーやイベントホールとして利用できるスタジオとキャンプサイトなどに利用できる広場が整備されている。ショップやレストラン、宿などの開業を目指す方や、協力頂ける方を募集しているという。お問い合わせは左記まで。

電話 (〇一六六) 六五七〇八七

<http://ashino.bz/>